

津村啓介

つむら けいすけ

現状打破、 選手交代。

新しい顔ぶれで野党共闘を着実に進めます！



野党一の政権担当能力

アベノミクスが5年続き、年金生活者や地域の中小企業で働く方々の暮らしを深刻に脅かしています。今こそ、他の野党に先駆けて、「ポスト・アベノミクスの新しい経済政策」を提唱します。政権獲得後ただちに、①インフレ2%目標を撤回し、マイナス金利政策を転換します。民主党政権期の

大きな挑戦であった、②「社会保障と税の一体改革」をバージョンアップし、『みんなの税を、みんなの暮らしのために使う』という理念を実現します。③社会を混乱させる消費税軽減税率の導入には反対です。

タブーなき政策提言 ー尊厳死(安楽死)の合法化ー

まもなくポスト平成の新時代を迎えます。私は、安倍政権の持つ、国家が個人に優位する価値観を根本的に転換し、「日本人の新しいライフスタイル」をサポートする政策を進めます。①尊厳死(安楽死)の合法化、②選択的夫婦別姓、③不妊治療の保険適用拡大、④LGBT関連の法整備は、

いずれも日本人の生き方、死生観、家族観を大きく左右する大きなテーマ。個人個人のライフスタイルをより多様で豊かにするために今こそ国がすべきこと、そして、未来先取り政党である国民民主党が、タブーを捨てて、今こそ挑戦すべきテーマです。

本気の参院選対策

「来年夏の参議院選挙で、野党が与党に勝利すること」。これが私の皆さんへの最大のお約束です。野党全体で改選議席の過半数を取ることができなければ、私は即日代表を辞任します。それが私の本気の覚悟です。

野党勝利のためには、全ての一人区で「与野党が1対1で戦う構図」を作ることが必須。そのことを常に念頭におき、野党共闘を、着実に進めます。



津村啓介 プロフィール

Tsumura Keisuke PROFILE



初当選の時

政治とは縁のないサラリーマン家庭に育ち、
民主党候補者公募に合格して政治家になりました！
そんな私のプロフィールは……

- 1971年 10月27日 岡山県津山市生まれ
- 1990年 麻布高等学校卒業
- 1994年 東京大学法学部（政治コース）卒業、1994年日本銀行入行
- 2001年 オックスフォード大学経営学修士（MBA）
- 2002年 民主党 候補者公募に合格し、第1号の公認候補となりました。
- 2003年 第43回衆議院選挙 初当選



岡山県津山市にて……



衆院選「若い力」とともに！

衆議院選挙6回当選！

- 1期目（2003年／第43回）
- 2期目（2005年／第44回）
- 3期目（2009年／第45回）
- 4期目（2012年／第46回）
- 5期目（2014年／第47回）
- 6期目（2017年／第48回）

- 2007年 世界経済フォーラムより、Young Global Leader（世界の若手リーダー250人）に選出
- 2009年 内閣府政務官に就任。成長戦略の策定に携わりました。
- 2011年 与謝野馨大臣の補佐役として、社会保障と税の一体改革に関わりました。民主党 青年局長を3年間務め、全国に仲間が増えました！
- 2011年 本を出版！「国会議員の仕事－職業としての政治」（中公新書）
- 2015年 原点に立ち返り、選挙区のお宅を一軒一軒回らせていただいています。
- 2017年 予算委員会の理事として、安倍総理に多くの質問をしてきました。
- 2018年 8月国民民主党 代表選挙に出馬しました。



内閣府政務官時代



社会保障と税の一体改革で
一緒にしました。



全戸訪問。15,000軒



自民党 林芳正議員と共著



代表選出馬会見

「若い力。」が生み出した、 自治体議員の全国ネットワーク！！

青年局

2011年から3年間、民主党青年局長を務めました。
全国の多くの自治体議員の仲間とチームをつくり、
お互いの選挙応援や被災地支援、政策提言などを通して、
根っこの深い全国組織ができあがりました。
その時の仲間は今でも、国民民主党の「全国青年委員会」として
地域に根付き、強いネットワークを武器に活躍しています。
そんな私たちの至上命題は、来年の統一地方選挙での必勝。
従来の公認・推薦料に加え、選挙対策費を大幅に上積みし、
ポスター・名刺・ビラの作成費は100万円を上限に全額補助します。
地域との絆を一番に考える新しい国民民主党の、本気の統一地方選対策です。

